

第5章 海面上昇への効果的な対応策

1. 防護による対応策

海面上昇への対策として、個別の施設整備で対応する防護対策と、土地利用の誘導等の対策が考えられる。

防護を主体とした対策では、主に下表に着色した部分などの検討が必要となる。ただし、施設が十分機能を果たすためには、着色部分以外の対応が必要な場合があることに留意する必要がある。

海面上昇への防護対応策

各分野における対策工	海岸保全施設		①護岸・堤防の嵩上げを中心とした改良
			②護岸・堤防背後の排水溝(潮溜まり)の拡張
			③沖合施設の新設による打ち上げ高・越波量の低減
			④二線堤の新設
			⑤養浜の実施
	河川	堤防	①堤防嵩上げ
			①ゲートの嵩上げ
		防潮水門	②カーテンウォールによる対応
			③改築
		排水機場	①ポンプの改良・新設
			②ポンプ場の移設
		橋梁	①架け替え
	港湾施設		①係留施設・護岸の嵩上げ・改良
			②防波堤の天端の嵩上げ・改良
			③浸水区域の建築物基礎の嵩上げ
			④荷役施設の改良
			⑤ヤードの嵩上げ
			⑥ヤード内付帯施設(排水工など)の付け替え
	下水道施設	雨水ポンプ場	①ポンプの改良・新設
			②ポンプ場の移設
ポンプ放流の下水処理場		①ポンプの改良・新設	
自然流下の下水処理場		①ポンプの新設	
道路		②下水処理施設の嵩上げ	
		①海岸・河川堤防による対応	
		②周辺地域と一体的な道路地盤の嵩上げ	

 : 今回用いた対応策を着色